

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅰ	1	前期	必修	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の土台となる聖書理解が目的である。授業では、旧約・新約聖書の基礎を体験的に習得できるよう、毎回の講義で各々が聖書を声に出し輪読をすること、学生による紙芝居や絵本の読み聞かせ、ディスカッションなどを取り入れた。また、毎週のチャペルの参加や、ミッションデーのレポートなどを評価に取り入れ、授業外でもキリスト教に触れる体験の機会を促した。 毎回、授業の最後に記入するポートフォリオにおいて、その回の学びの確認を行っている他、遠隔のチャペルについてもチャペルポートフォリオを作成し、積極的なチャペル参加と感想の作成を促し、自らの考えをまとめる機会を作った。 今後は、さらに建学の精神に日常的に触れていく機会、聖書を読む機会を予習・復習などに取り入れる工夫を行いたい。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては3.9ポイントであった。事象を理解する視点や考え方取得は4.0ポイント、到達度自己評価全体として平均3.8であった。トータルの成績の平均値は約80%以上、チャペルの出席率約90%以上と、遠隔授業であっても、チャペルポートフォリオやクラスポートフォリオなどから、「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の世界観を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。 キリスト教学Ⅰはキリスト教の導入なので、今後、キリスト教学Ⅱの中で、Ⅰで学んだ知識をもとに、発展させていくような展開が必要とされる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となるキリスト教を学ぶ「必修」科目である。しかし、初めから興味を持って受講する学生はわずかであるため、キリスト教に全く興味のない学生も受講しているため、動機付けに工夫が必要であるが、総合的に全体として一定の成績を取めていることから内容的には妥当であると考える。 ②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという行動目標に沿い、学問としての旧約新約聖書の講義と、実際に自ら聖書を開くなどのアクティブラーニングの他、チャペル視聴を評価に組み入れ、授業内で学ぶ事の出来ないキリスト教の源泉に触れるなど、内容的に妥当であっただろう。今後も引き続き、慣れない聖書の学びへの導入として、多様な教材に触れながら多角的に教え、学生の生活につながる学びの視点を大切にしたい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「チャペルポートフォリオ」を導入して、チャペルと本講義とのリンクを行なった。毎回90%以上の提出があり、学生のチャペル参加の意欲など、全体像をつかむことが出来た。本講義は、キリスト教に興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、わかりやすい説明を心がけており、(1)は4.3、(2)は4.3ポイント、(3)「説明は理解しやすいものであった」は4.3ポイント、(4)「学生の参加の機会」は4.0ポイント、「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」は3.9ポイントであった。引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の土台を学ぶ科目であるため、学期始めにキリスト教に関心や興味のない学生たちにも主体的に学習してもらうための工夫が必要である。受け身的に知識を得るだけではなく、学生が興味を抱いたテーマについて取り上げてディスカッションを行うことや、絵本・紙芝居の読み聞かせを学生自らが実践することなどを入れ、授業を造り上げる一員としての自覚を養うように促している。今後も、さらなるアクティブラーニングを検討し、キリスト教学の学びを体験的に深められるような機会を提供していきたいと考えている。

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナー	1	前期	必修	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	今年度の新入生は、従来通りの学生（修業年限2年）、長期履修制度を活用する学生（修業年限3年）、職業訓練生、社会人、と様々なバックグラウンドや生活環境の方々で構成されました。そのため、本科目では、第一にお互いを理解しあうことを目的とした交流に重きを置き授業計画に反映させました。 授業アンケートからの受講動機は、98%が「必修科目である」と回答されており、本科目が卒業必修の科目であることは認識して受講されていたことがわかりました。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	シラバスに記載した評価方法での成績評価は、56名が「秀」で、うち4名は素点が100点になりました。1名が「優」でした。しかし、授業評価アンケートでの受講生自身の目標達成の手ごたえは思っていたより低く、平均値3.8、中央値4.0でした。本科目の内容及び目標が、他の科目のように「学修成果」が明確に示せないものが多いため、受講生の手ごたえが、ぼんやりしたものになったのではないかと推測しています。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	保育科は様々な授業でグループワークがあり、保育現場は協調性が求められる職場でもあります。本科目が短大2年間の「学びの基本」を得ることとして、保育者としての「第一歩」としても、まず最初に位置付けられていることは、妥当であると考えています。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業評価アンケートではないですが、各回の授業コメントカードには、早い段階で学内の探検ゲームを取り入れたことは、新入生には効果的であったようでした。また、この回では、学生達が普段関わる部署の皆さまや、保育科の教員にも協力を仰ぎ、より身近な存在になれるようにインタビューをするミッションを加えました。このことも、より大学に馴染むきっかけとなったようです。多くの教職員の方々のご協力あつての成果です。 また、後半の調査研究及び発表、レポートを学ぶプロセスでは、今回、小倉の商店街組合の皆様のご協力を得て、フィールドワーク等を含めた学びができました。 今年度は、担当者1名で授業を展開していき、見えないところでの負担が大きかったのですが、教職員や商店街組合の皆さま、そして、フィールドワークの引率と一緒にいただいた池田先生のおかげで無事に15回を終えることができました。本科目は今年度で終了となりますが、このような特性をもった科目を担当者1名とするのは限界があると感じています。
7. 総括的评价と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的评价と課題をお示しください。	成績評価と授業評価での受講生達の達成感には乖離が見られましたが、日々の授業コメントカードや授業評価アンケートの（少しでしたが）自由記載を見る限りでは、こちらが意図する本科目の目的目標は達成できたのではないかと評価しています。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
運動と健康	1	前期(後期)	必修	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は卒業必修科目であるとともに資格取得に必要なため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生（前期）であり、今後資格を取得するために、子どもの健康等を守るためにまずは自己の健康・体力について理解することは大切である。また、学生自身の生活習慣の見直しや健康管理の重要性を理解してもらうために、学生の興味のあるダイエットや美容に関連する内容を取り入れた。教室での講義だったが、スポーツ科学実技での体力測定結果や、実際に運動を行うことで運動強度を測定・評価したりして理解が深まるように工夫した。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均は80.4点（S-10人、A-8人、B-9人、C-4人）である。半数以上の学生がSまたはAを取得していることから、目標はやや達成できたと考えている。しかしながら、小テストの得点を見てみると60点を下回る学生もいた。2年次の授業では体を動かす機会が少なく、健康や運動に対して意識が薄れていると考えられるので、実習指導や講義においても健康等について引き続き指導していく必要があると思われる。また、運動量等の計算では、より丁寧な説明が必要であると感じた。授業評価アンケート「学習量の評価」では「自分にあった運動法を探して試してみた」という意見が聞かれた。また、「授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習」では、「ダイエットやストレス発散方法を試してみた」という意見が見られた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は卒業必修科目である。また、幼稚園教諭免許（選択必修）、保育士資格（選択必修）の科目でもある。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題はほぼ達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」で平均点が4.3点となっており、多くの学生が知識を得たと考えている。また、「とても為になる授業でした」という意見が見られた。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で講義を行った。また、理解が深まるように座学だけではなく、実際に運動をしながら測定・評価を行えるようにした。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りがみられたため、すべての学生が発言しやすい環境づくりを引き続き検討していきたい。また、図書館やインターネットなどを利用できるような講義内容も検討していく。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的はやや達成されたと考えられる。この講義は教室で行うため、実際の運動や生活習慣に繋げていけるようにスポーツ実技等の科目でも指導を行う必要があると思われる。また、授業だけではなく、普段の生活や卒業後も学生が得た知識を生かすことができるような授業展開を心掛けていきたい。

学科	保育科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
共生社会とジェンダー	2	前期	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	ジェンダーに関する問題は、身近でありながら生活の中で無意識化されている場合も多いことから、アクティブラーニングを実施するにあたって、ジェンダー問題を意識化できるように漫画やアニメ、ネット上の映像、ニュースや映画の予告、CMや最新の動画などを教材として準備した。学生にもその旨シラバスに記載し、身近なテーマから授業に関心を持てるようにした。特に、将来の保育士として子どものジェンダー観形成に影響を与える立場であることを認識できるようにおもちゃの与え方への配慮などを取り上げた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	評価は、最終授業の中でジェンダーを原因とする格差が解消した未来の共生社会を新聞記事として表現し、これに対し当事者性のある課題をどこまで社会的解決に結びつけるかを採点の基準とした。新聞作成はグループの作業となったので、個別の評価は各回の授業の感想において、現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題に関心を持ち、自分の考えを述べることができるかを加えた。また、各回のグループワークにおいて発言することを促し、他者の意見を聴いて自分の中でどう反芻し活かすかも文書にて提出させた。新聞作成においては、ジェンダーをめぐる課題を社会構造と結び付けられているか、意欲関心が表現されているかを評価した。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	新聞記事として表現された内容から、ジェンダーをめぐる現状に社会的解決が必要であること、それ実現するために求められる施策などへの理解は達成できたといえる。また、保育士としての専門性を意識した知識の獲得を促したため、思考判断や意欲関心についても達成されており、おおむね内容的妥当性は認められる。グループ討議などで他者の意見を聞くことで、新たな気づきにつながっていったと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	討議のルールや役割を最初の段階で明確にしたため、グループ討議が活発に行われた。グループ討議では学生は自分の役割を理解して責務を果たした。各回提出の課題ではその責務を果たせたかについて振り返り、学生自身の評価はおおむね高かった。積極的に自分自身の意見を述べることや他者の意見を聴くことに、楽しさを見出していた。一方的な講義より、理解が深まったものと思われる。毎回、発表する担当者を決めて、またグループで発表内容を検討するなどして、主体的な学びの場となった。事前、事後の学習は学生の自主性に任せたため、次年度は前回授業後にどのように考えを深めたかについて討議の時間を設けることも検討したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	ジェンダーや共生社会という概念については、もともと知識のある学生と全く初めて接する学生に分かれていたが、日頃の生活を点検することで知識が実生活に活かせることが確認された。最終的には当事者性をもって基礎的な知識を身につけたと思われる。根強く残る偏見を知識や他者の実体験などで見直し、ジェンダーだけでなく多種多様な背景を持った人々が共生することのできる社会を目指す意義は理解できた学生は多かった。災害や性暴力など日頃は身近でないと思われる問題を政治やメディアと繋げて考え、よりよい社会としての共生社会を考えられた。今後は引き続き、当事者として社会にどう関わることが共生社会の実現につながるのかを討議する授業としていきたい。

学科	保育科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英会話入門	1	前期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	For this course we used the textbook "Four Corners 1 2nd edition" (Cambridge), which guides students through practical exercises aimed at improving spoken English skills. Students engaged in listening practice, dialogue drills, information gap exercises, role plays, reading comprehension, and vocabulary building for the first half of the textbook.
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された					やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	Students were assessed on passive participation, weekly class tasks,and presentations (80%) and a final assessment (20%). Student scores were well-balanced from the 60s through the 90s.					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

Students were very enthusiastic, positive, and willing to learn. This positive outlook contributed to a high level of participation and increased understanding of the material. Opportunities to build skills (DP5) were provided throughout the course with most students taking advantage of the opportunity to learn.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year will be to integrate new approaches and skills required to successfully plan, distribute, monitor and collect the productive output of the students. This will be achieved while also accurately tracking and assessing every single student up to the usual standards.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

Integrating a wide range of educational technologies into the course syllabus will continue as I combine the benefits of online teaching techniques with fully face-to-face lessons.

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	韓 京我

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ハングル入門	1	前期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①今回の受講動機をみると、最も多い動機は「単位数を確保する」（79%）であり、履修目的が実用的な側面に偏っていることが特徴的。一方、「関心のある内容である」（43%）や「資格取得に必要である」（36%）も比較的高く、授業内容に対する興味や目的意識も一定程度感じられる。もともとK-POPや韓流ドラマなどの影響を受けている学生が多く、できるだけK-POPアーティストや韓流ドラマ俳優などが使うフレーズや言葉なども文法学習で取り入れながら、学生が韓国カルチャー情報を見る際に実際に役立つような授業も心がけながら、学生の自発的な韓国語学習を促すことに重点を置いて取り組みたい。②授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行った。その項目から受講動機、韓国語学習経験、知りたい事を把握した。③各課に文字読み取りテスト、単語テスト、挨拶テスト、自己紹介テスト、会話練習を行い、学生の復習への意識を高め、学習状況を確認するようにした。④昨年度に示した改選計画では、授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由に「どのようなことをしたらいいか分からなかったから」もあったため、これについて復習項目と次回講義の予告をする事で自習を促した。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された					達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は84点であり、再試験対象は0名であった。全員が標準的レベルに達し、理想的レベル（概ね80点以上）に達したものは、9名だった。目標別に見ると、知識理解に関しては84.2%、機能表現は89.6%であった。知識理解では、与えられた課題を解決する際に知識をどのように応用するか、また機能表現では、文字読み取りテスト、挨拶テストと自己紹介テストの実施で、「知識を新たに得ることができた」と「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」で高い満足度が見られ、講義の重点を置いている点と学生の満足度が一致する結果が得られた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性について、試験の結果で見られるように第二外国語として目標とした成果を挙げられたので、内容的に妥当性があると考えられる。②DP 授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価でも高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。③まとめ、以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進度は毎回行う小テストや課題の出来具合をしっかりと把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に指導にあたったりもした。また韓国語の発表の時間や会話の機会などコミュニケーションを図れるよう努めた。最終テストでは全員の平均点が高く、語学の基礎的レベルには十分達したと思う。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	本講義ではハングル文字の書き方、正確な発音など、これからの発展的な語学学習の重要な基礎を身につけることができ、韓国語でのコミュニケーションの第一歩を確実に踏み出せたと考える。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育者論	1	前期	必修	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・資格取得の必修科目でもあり、テキストや参考文献、画像等も活用しながら伝えるべき内容を網羅するように心掛けた。 ・これから保育者を目指す1年前期の段階で、子どもや保育者の姿をイメージしやすいように保育現場でのエピソードを織り混ぜながら、望ましい保育者として押さえておくべき知識理解・態度について説明することを重視した。 ・学生との、また学生同士での双方向のやり取りを心掛けて授業を進めた。 ・オリエンテーション後の授業でそれぞれ学生が考えている望ましい保育者像や子どもの姿について課題を出し、それを集計したデータをもとに望ましい保育者の専門性や倫理観について解説を行った。また、オリエンテーション後の授業と最終回の授業で同じ課題を出してその内容を比較することで、自らの学びを振り返り、深めることができるようにした。 ・毎回、授業開始時に前回の授業内容の振り返り時間を取り、授業終了時には、次回の予定を伝えて予習・復習ができるように配慮した。 ・今年度も学んだ内容の定着を図るために持ち込み不可で定期テストを行い、内容理解の確認を行った。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	・全体を通しての成績は79.7（±8.6）で、2年コース78.8（±9.4）、3年コース80.1（±8.3）であった。総合評価として学生の約6割がA評価以上のレベルであった。 ・重要なポイントを押さえながら授業を行った。定期テストは平均値が79.5点（±12.5）で、知識理解は概ね達成されたと考えるが、偏差が大きかった。定期テストの得点が低い学生が数名いたので、今後の課題として学生への個別指導についても検討していきたい。 ・学修態度としては出席状況は非常に良好で、回を重ねるに従って主体的に授業に参加し、意見を述べる学生が増えた。自主的に発表することをためらう学生が多かったが、指名すれば適切な内容を答えることができた。 ・授業内容に該当するテキストの箇所を事前に知らせて、当日レジュメを配布することで予習・復習を促してきた。それぞれの学生なりのやり方でテキストやレジュメを使って予習・復習ができていたようである。特に定期テスト前には授業内容の確認学習もできていたようで、数名を除き、定期テストの結果より概ね知的理解はできていたと思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・本科目は、「専門教育科目」の「教育に関する科目」「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられており、幼稚園教諭2種免許、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生はいずれの免許・資格の取得も希望しており、主体的に授業に臨む姿が見られた。 ・授業アンケートの自由記述での回答からも、現場での事例（プライバシーに配慮して加工しながら）を用いて解説することで、より興味・関心をもって説明を聞き、望ましい保育者像をイメージすることができていたように思われる。 ・以上より内容的妥当性には問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・入学直後のそれぞれの学生がもつ望ましい保育者のイメージを活かしながら、テキストを用いた解説に加え、他者の意見も取り入れながら、より望ましい保育者像を構築することを目指した。今年度もこれまでの経験を活かして意見交換の時間を多くもったことで、他者の意見も取り入れて自分の意見を構築しながら学びがさらに深まったと思われる。 ・オリエンテーション後の授業と最終回の授業で「望ましい保育者像」について課題を出し、内容と比較しながら授業での学びを振り返る機会を作ったことで、それぞれ自分の学びを実感できたと考える。しかしまだ”他者との関係に配慮した自己表現ができる”という部分では十分とは言えないので、引き続き発表場面を増やすなどの工夫をしていきたい。 ・授業内容を記載したテキストの箇所を明確にし、レジュメを配布することで予習・復習を促したことで、それぞれの学生なりの方法で予習・復習に取り組めたようである。主体的な学びを引き出せるように、さらに具体的な課題の提示に留意していきたい。 ・保育現場でのエピソードは、学生の理解を促すために有効と思われるので、守秘義務に配慮しながら継続していく。 ・学生より、講義形態が単調との意見があった。次年度の授業形態の改善に努めたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・学生により授業の取り組みに温度差が感じられることがあったが、学生の達成度自己評価とトータルの成績より、概ね授業の目的は達成できたと考えられる。上記の課題を意識しながら、さらに他者との関係に配慮した自己表現ができるように、また学生の主体的な学びを促すように授業内容を工夫していきたい。

学科	保育科
氏名	末 崙 雅 美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育原理	1	前期	必修	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	*卒業必修科目であり、資格に必要な科目のため、全員履修した。 *授業への目標が持ちやすいよう、保育に関する基本的な理念や概念の整理などを行う授業であること、特に基礎となる知識習得を重点的に学ぶよう開講時に説明を行った。試験についても、事前に2回の小テストを行い、通信環境の確認や出題傾向や問題は分かるようにしておき復習がやりやすいように心がけた。 *授業の進行には、ノートプリントを用いた。穴埋め形式のため、キーワードとなる言葉や概念の整理と共に、どのような学習の経過を辿ったか分かるように工夫をしている。自分の考えやアイディアを記述する欄も設け、それに基づいて意見発表ができるようにしていた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	*全体の成績は平均が78.7（昨年度83.7）と高く、再試験該当者は1名のみに留まった。授業評価アンケートにおいても、「自分なりの目標を達成した」平均3.7で、「少しそうでないと思う」が3名となっている。また「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」平均4.2と、DP1の「知識理解」が十分に達成されていることが分かる。成績評価と学生の自己評価を合わせても、授業目的は達成されたと評価する。 *授業に対して、本試験に向けた小テストを授業内に2回実施した。学生にとっては学習のポイントを押さえることができたようで復習する機会となったようである。また、穴埋め式プリントにより覚えるべき用語や概念をまとめていたためプリントの読み返して十分に復習はできたと思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	入学直後の1年前期に配置される、基礎となる用語や概念の習得、子ども理解を学ぶ内容であるが、カリキュラムツリーの位置づけとして十分に妥当であることを示した結果となった。 DP、行動目標に置ける内容的妥当性についても、十分に確保されていると思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価について、(1)(2)(3)については4.1以上で、学習内容の理解や求める基準についてはきちんと伝わっていたと評価する。パワーポイント資料の作成には視覚的に分かりやすい工夫をこらした。 (4)(5)については3.8と3.7に留まったため、学生同士、学生と教員のコミュニケーションが不足していたと考える。 課題以外の自己学習に取り組んだ学生が全体の半数以下に留まり、「授業で十分」「時間が無かった」等の意見があった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	次年度は開講予定のない科目であり、今年度が保育科において最後の開講となった。保育の基礎を学ぶ科目として、十分な役割は果たしたと思われる。

学科	保育科
氏名	末 崙 雅 美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育原理	2	前期	必修	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	卒業必修科目のため、学科の全学生が履修する。情報量がかなり多い授業内容であったが、一年次の学習や実習経験が基礎として活かせるよう、内容も十分に関連付けながら、より理解を深められるよう授業計画を立てた。パワーポイント資料を準備し、また話のポイントが押さえられるようレジュメプリントを「穴埋め方式」にして書き込みができるよう工夫をし、また最終的にプリント提出を評価対象とした。日々の学習課題は簡潔にまとめられ、その日の学習内容が振り返られるテーマを課した。期末試験に備えられるよう小テストを2回行った。期末試験については試験勉強で備えられるよう問題を予告するなど行った。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終の成績評価の平均は81.4と例年になく非常に高い結果となった。ただし欠席による再試験者と成績による再試験該当者がそれぞれ1名ずついた。再試験前に該当者とは面談を行い、学習の助言を行った上で再試験の受験をさせたため、再試験は十分な点数を取ることができた。 期末試験は授業範囲から満遍なく出題し、全ての内容において十分な理解を求めるものであったが、特に選択問題での正答率が高かった。学習内容の復習として小テストの振り返りを十分に行うよう伝えていたためと考える。 また授業評価アンケートでも学生の自己評価として「自分なりの目標を達成した」4.3、「知識を得た」4.6であったため、各DPは「達成された」とした。 またDP3に関して、自発的学習に取り組んだ学生は3割以下で少なく、その授業の課題外の取り組みについても、こちらが示した小テストの振り返りや復習に留まっており、意欲や関心は引き出せたとしても自発的学習を深化させることは難しい。また「他の課題で忙しい」「時間が無い」と回答する学生も多く、2年生前期は他科目の課題も多い時期であるが、適切な課題設定の必要性が今後の課題と考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CPともに内容的に妥当であると言える。カリキュラムマップにおける位置づけについても、妥当である。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業評価アンケートの「授業の質評価」について、平均が4.1～4.6と非常に高い数値を得ることができた。 配付資料についても、穴埋めプリントを使用した。1年次に比べてこの科目では細かな情報を紙面に盛り込まれているが、PPで視覚的効率的に理解を促す、という授業方法で進化した。そのため、多少授業内容が難しくてもキーワード等が理解できるように配慮したため、成績評価では十分に得点を得られたと考える。 学生の自発的な学習を進めるためにも、次年度は自発的にノートを別途準備するよう指導を行いたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	今年度の受講学生は、全員が学習意欲が高く、学習目標を持って授業に臨んでいることがアンケート結果や日頃の学習態度からも見て取れた。授業内容や方法は、昨年度とあまり変えていないが、学生のモチベーションが十分であり、分からない課題などは教え合うなどの姿も見られ、欠席する学生も少なかった。 原理系の授業は「難しそう」と忌避される傾向にあるが、できるだけ「学びの楽しさ」が伝わるようこれまでも工夫や努力を重ねてきたが、今年度はそれが十分に伝わった手応えがあった。 次年度の学生が同じような学習態度を持てるかどうかは不明であるが、十分にコミュニケーションを取りながら進めていきたいと考える。

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会的養護Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は保育士資格習得の必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業では、社会的養護に関する制度・施策、子どもの人権擁護や自立支援、社会的養護の現状と課題など、社会的養護の担い手である保育士に求められる知識の獲得を目指している。また、社会的養護への意欲関心を高めるとともに、社会的養護の実践を具体的にイメージできるよう、適宜事例等を用いた授業展開を心掛けた。学生の学習状況を把握するため、適宜小テストを行い、授業理解度の低い学生については必要に応じて個別対応を行った。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	成績評価については、定期試験、レポート、小テスト、授業への参加度を踏まえて総合的に行った。その結果、全体の成績は平均78.8点であった。学生の到達度自己評価「（1）自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値4.1点（かなりそうだと思う27.8％、わりにそうだと思う55.5％、まあまあそうだと思う16.7％）であり、目標は達成されたと考える。「知識理解」については、「（2）知識を確認したり、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.3点、「（3）事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.2点であり、目標は達成されたと考える。「意欲関心」についても、「（6）自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.2点であるため、目標は達成されたと判断した。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられている。授業評価アンケートの結果からもほとんどの学生が資格取得のための必修科目であることを理解しているため、受講に対する意欲は高い。学生の自己評価における知識理解、意欲関心に関する項目ですべての学生が肯定的な評価をしていること、成績評価において一定程度の成果を得られたことから、本科目の内容的妥当性に問題は無いと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	今年度も学期を通して対面形式で実施した。学修準備性を高めることを目的に、単元ごとの小テストの実施と予習プリントの配布を行ったが、学習量の評価をみると課題を残す結果であった。学生の自由記述では「何をすればよいかわからなかった」、「授業内で完結した」などのコメントもみられ、数値からは継続的に予復習に取り組んだ学生は16%程度であることがうかがえる。配布プリントの見直しを行ったり、授業の中で繰り返し説明するなどして予復習の定着を図っているが、十分ではなかったのかもしれない。今後も配布資料の改善や丁寧な説明を行い、予復習の定着に向けた働きかけを行っていききたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の取り組み状況や評価の結果から、本科目の教育目標は達成できたと考える。他方、学習量の評価については課題を残す結果であった。本科目は保育士に求められる専門的知識を獲得するだけでなく、職業理解にもつながる重要な科目である。学生の受講意欲や興味関心を高めることが出来るよう、引き続き授業改善にむけた取り組みを行っていききたい。

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育の心理学	1	前期	必修	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、資格取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生は全員受講している。しかしながら受講動機において資格取得に必要であると認識している学生は半数である。現在、授業初回にカリキュラムツリーを用いて説明してはいるが、より丁寧に伝えることが必要であると思われる。 受講学生は乳幼児についての基礎的知識や体験が少なく対象に対するイメージが難しいのではないかと考え、スライドには写真を用い視覚的に理解を促す、幼少期に関して自身の記憶を想起できるような働きかけを行う、他科目ではあるが見学実習や遊び体験を振り返ってイメージする機会を持つなど配慮した。配布資料はスクリーン用とは別に内容を集約し、適宜書き取りを行う事によって授業に集中できるようにしている。 講義を進めるにあたっては、なるべく教師からの一方的な教授になることの無いよう、事例や学生同士のディスカッションを取り入れるように心がけた。また、講義を主体的に受講することを意識づけるために、評価に授業ノートの提出を取り入れている。これにより、講義であっても重要箇所を聴き取る力を身につけられるよう意識している。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	やや達成された			
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は82.8点（最高点97点、最低点61点）である。本学年は再試験該当者がおらず、全員が授業において、一定の水準に到達することができたと考えられる。授業評価では、授業の復習を個人や友人と行っている学生や、授業を基に関連する情報を調べている学生も見られた。 当該科目は、授業の要点を要約しながらまとめる力を育むために、授業ノートも評価の一環として取り入れているが、学生によりこれらの質には差があることがうかがえる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、卒業必修科目であると同時に、「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置付けられており、幼稚園教諭免許（必修）、保育士資格（必修）の科目である。受講生は、いずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。 DPに関しては、試験解答状況を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成できていると考えられる。 以上の事より、内容的妥当性には問題ないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業時の発言は学生にとって勇気が必要であり、発言する学生としない学生に偏りが見られる。個人ワークののち、グループワークを取り入れて発言しやすい状況を作ったり、発言を促す際は少人数でディスカッションする機会を設ける、発言は否定せずに受け止めるなど発言しやすい雰囲気を作る事によって、意欲が高められるように配慮した。また、個々人が事例検討を深められるように各自がゆっくり考えられる時間を確保した。授業時は配布資料に加え、口頭説明もかなりの分量になるが、学生には内容を要約してまとめるといったスキルを身につけていただきたいと考えている。 今年度より、コミュニケーションシートを導入した。授業の内容理解や疑問点等について記入を促し、次の授業初めに振り返りを行った。教授と理解のズレを修正することができたり、新たな視点を伝えられたりするといった点は良かった。しかしながら、振り返りに時間を要することもあり、授業進度に遅れが生じたため、一部かなりスピードアップしての授業回となってしまった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	全体的には学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、授業の目標はやや達成できたと考えられる。本科目は、保育の道を志した学生が保育者としての視点を学ぶ科目であると考ええる。また、これから2年間かけて形成されていく学生たちの子ども観や保育観の基本となる内容を取り扱っているため、授業理解度を途中で確認できるような機会を設けるなど、学習内容を深化させられるような取り組みをしていきたい。また、授業ノートに関しては、定期試験時に回収し評価しているが、中間で作成のポイントを抑える等の工夫を行っていきたい。 コミュニケーションシートは、今後も継続して行いたいと考えている。今年度の課題である振り返りと授業を進める際の時間配分に留意していきたい。

学科	保育科
氏名	櫻井 裕介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容総論	1	前期	必修	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	卒業必須98%、資格取得に必要であることから必然的に受講することになる。1年次前期ということもあって、関心のある内容である31%であり、履修登録時にはシラバスでは大学での具体的な学びをイメージすることが難しいことも考えられる。保育内容総論は演習科目であり、グループによる模擬保育が中心となる。保育実践の場で求められる、人間関係の構築や人まで発表すること、また資料として保育実践内容を伝えることを含めた実践的で、学生が主体的に取り組まなければならない内容である。よって、学生からの意見にあったように「考えることが大切だと分かった」、「学びにつながっている感じがした」という肯定的な意見があった。授業前に何度もグループでの発表準備の時間が必要であり、その調整や役割分担含め、主体的に取り組んでいたと感じる。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績の平均は83.4（±3）であり、再試験対象者は0名であった。他グループの発表に意見を述べたり、それに応答したりすることが回を重ねる事に増えていった。その質問内容も保育5領域を基にした内容や導入といったこれまでの学びを生かしたものとなっていた。授業課題以外の学習について「取り組み方が分からなかった」と意見があったが、実際は課題の準備で多くの時間を使い、それを通して学びを深めていたと考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門基礎科目」であり、保育を学ぶ上での基本的な内容となる。本科目で行う演習は、他科目を総合的にまとめて、保育活動を構成していく基礎的な内容である。保育活動を行う際に必要となる後期科目「保育の計画と評価」につながるものであり、また保育原理や5領域の指導法、専門応用科目を学ぶ必要性を学生自身が感じる導入ともなる。担当教員への意見の内容からも、保育者になることへの意欲向上や興味関心の高まりを感じられるものがあり、学生自身の学習到達度、学習意欲は低くないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学生の意見には肯定的なものが多く、学生同士がコミュニケーションをもつこともできていた。座席を指定したこともあり、席を変更してほしかったとの意見が1名あったので、後学期の授業では取り入れたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	短期大学での保育科は履修科目が多く、各授業での課題や授業準備で多くの時間が必要となる。授業課題以外の学習時間確保は現実的には難しいと考えられる。評価についてはループリック評価を示して学生自身に、何が評価されているのかを伝えた。筆記試験がない科目は特に、ループリックのような表を示すことが必要と考えるので、その内容を更に改善していきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
障がい児保育演習	2	前期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	授業参加度を評価するために、毎回コメントカードを提出させた。その記述内容も学習達成度の参考にした。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	どちらともいえない		どちらともいえない		どちらともいえない	どちらともいえない
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	コメントカードの記述内容やレポートの評価からして、十分に達成できたとは言えない。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	内容は妥当であると考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	演習授業であるため、交互作用を重視して授業を進める予定であったが一斉教授になりがちであった。できる限り1年後期に開講される特別支援論での授業内容を確認して授業を進めたが、学生の授業準備性の把握は十分ではなかった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学習に対するモチベーションを高め、学習準備性を確認しながら、学習目標達成を目指して、授業構成を検討する必要がある。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	菅原 航平

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子育て支援	2	前期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	子育て支援・保護者支援は保育実習などでも直接経験することはほとんどなく支援をイメージすることができない学生が多いため、教材として教科書等の事例、実習園や自身の居住市町村の取り組みについての調べ学習などをできるだけ多く用いて、学生が実際の場面をイメージしながら子育て支援が保育者の重要な役割のひとつであることを理解できるようになることを目指している。 今年度はオンデマンド形式の授業も設定して動画教材やgoogle class roomの機能を活用した課題などの準備を行った。 また、昨年度の科目担当経験を活かして、学生の既有知識や経験、興味関心を講義内容に反映できるように心がけた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された			達成された	やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は、S評価16名、A評価12名、B評価1名であり、再試対象者はいなかった。到達目標のルーブリックによる自己評価では全体の約16%が発展的な内容の理解に達しており、約53%が標準的な理解に達していた。また、保育士国家試験をもとにしたテストでは65%の受講者が国家試験合格レベルに達していた（前年度63%）。学生による到達度自己評価は平均4.0-4.5であった。 全体的に昨年度より評価は向上しており、目標達成度も昨年度よりも高まったと考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」のうち「保育の内容・方法に関する科目」であり、1年次の学修や本科目と同じく2年次前期に開講されている子ども家庭支援論の内容とも関連付けながら演習として学修を深めていく科目であり、CP、カリキュラムマップの位置づけを踏まえて内容は妥当であったと考える。 DPにおいてもおおむね妥当であったと考えるが、「DP4【態度】4・1) 保育者としての責任を自覚し、倫理に基づく行動ができる」の倫理に基づく行動の部分を引き続き次年度も意識して授業改善に取り組みたい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価では平均4.3-4.6であった。昨年度より評価は向上しており、例えば「説明は理解しやすいものであった」の項目は昨年度の3.7から4.5に改善していた。また、昨年度よりも授業課題以外に具体的に取り組んだ学習に関する記述が増えており、こども関連のニュースを意識して見るようになったというものや実習先で授業での学習を踏まえて観察をしたなどの意見があった。 自由記述では、「子ども支援について事例を挙げ、グループワークが出来たことがとても良く、印象に残っています！ありがとうございました！」、「オンデマンド授業有難いです！前期ありがとうございました！」、「ありがとうございました！たのしかったです。」、「授業内で、自分の意見を発表することが多々ありましたが、どんな意見を言っても、否定することなく、聞いてくれたので、発表しやすかったです。」、「事例がたくさんあり考えやすかったです。」など事例を多く取り上げてグループワークを積極的に行ったことやオンデマンド授業の活用などを評価する意見があり、引き続きそれらの充実に取り組んでいきたい。 改善点として、授業課題の学習について「取り組み方が分からなかった」という意見も数件あったので、授業外学習についてのガイダンスを充実させていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	今年度は担当2年目であり、学生の既有知識や経験、興味関心の理解が昨年度よりも深まっており、多くの学生の積極的な授業参加に支えられ、おおむね授業の目的は達成できたと考える。今年度の授業評価などを踏まえて次年度はさらに底上げができるよう改善していき、特に時間外学習の促進のための学習内容の例示などの改善に努めたい。

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
乳児保育Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・本科目は保育士資格取得について必修の授業で、保育所に就職希望の学生を中心に、また認定こども園の増加に伴い、幼稚園に就職希望の学生も「保育教諭」の資格取得に向け、主体的に受講する学生が多かった。 ・1年次の乳児保育Ⅰでの講義と保育実習Ⅰでの保育実践を受けての授業であるため、実習での疑問点や課題等についても検討していきながら、より内容が深まるように、また実習や保育現場での実践面で役立つように、実際に人形や玩具等を用いた演習を取り入れて授業を行った。教員が実践モデルを示すことにより、関わり方をイメージできるように心掛けた。 ・子どもの個人差を踏まえながら月齢を追って発達の姿について解説したうえで、その発達を支える関わり、また保育現場での実践について保育のポイントを押さえて解説をしながら演習を行い、保育現場に出ることを想定して各年齢ごとの指導計画を課題とした。それを現場で役立てられるように留意しながら添削することで、実践力につなげた。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		やや達成された			達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	・ トータルでの評価は85.2点 (±8.1) で、再試対象者は0名であった。総合評価としては多くの学生がA評価以上の理想レベルに到達できており、乳児保育における思考判断は概ね達成されたと考えるが、達成度合いのばらつきがあり、適切な指導計画の作成等では今一つと思われる学生もいた。 ・ 子どもや保護者への適切な遊びや養護技術などを実施する技能表現において、実際に学生に実践させて意見を述べ合うことができたため、学生同士で意見交換をする中で色々な視点や考え方を学ぶことができたと思われる。 ・ 全体での発表では自分から発言することを躊躇する学生もいたが、小グループでのグループワークでは、回を重ねるごとに意見が出るようになって学生同士の積極的な意見交換ができていた。 ・ レジュメに従って授業を進め、指導計画の作成と検討を行ったことで思考判断の力の定着を図った。特に現場での事例を多く取り入れたことで子どもとの関わりをイメージしやすくなり、それが適切な指導計画の作成に反映されたと思われる。 ・ 授業内で出した課題については学習の効果が感じられたものの、授業の課題以外の学習については、「どのように取り組めばよいのか分からなかった」とアンケートに記述した学生が複数名おり、予習・復習をすることが十分できていたとはいえなかった。					
* 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・本科目は、「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられており、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生は資格の取得に向けて積極的に授業に臨む姿が見られた。 ・乳児保育Ⅰでの学びに、保育所実習Ⅰでの実践の体験を受けて本授業を行ったことで、知識理解に加えて思考判断の力が深まったと考える。また担任の実践デモンストレーションを見たり、指導計画を立てて検討したりすることで、技能表現の力も加わり、保育所実習Ⅱ、Ⅲでの実践力につながっていったと思われる。 ・現場での事例（プライバシーに配慮して加工しながら）を用いて解説したことより具体的な理解ができたのではないかとと思われる。 ・以上より内容的妥当性には問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・テキストを用いた解説に加え、具体的な乳児のイメージがもてるように画像が載ったテキストやパワーポイントを活用するとともに、現場でのエピソードを盛り込んだ説明を心掛けた。 ・事例に基づいたロールプレイも多くを取り入れ、学生からの質問や意見が出しやすい授業を工夫した。2月の保育実習を経験したことを受け、8月に再度保育実習に行くことを想定して、ロールプレイではそれぞれの学生が子どもの姿をイメージしながら考えたことを発表することができていた。 ・次回の授業内容を知らせて予習を促し、指導計画の作成の課題を出したが、授業アンケートの結果を見ると授業の課題以外の学習にはつながっていないようであった。さらに授業内容を記載したテキストの箇所を明確にし、課題を具体的に示して学生が予習・復習の有効性を実感できるようにしながら、主体的な学びを引き出していく。 ・保育現場でのエピソードは、学生の理解を促すために有効と思われるので、守秘義務に配慮しながら継続していく。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・学生の達成度自己評価とトータルの成績より、概ね授業の目的は達成できたと考えられる。また指導計画の作成が実習現場で役立ったとの学生の意見が多く聞かれた。指導計画の作成と検討については継続していきたい。 ・授業以外の課題については具体的に説明し、学生が取り組みやすいように工夫に努めたい。 ・さらに実習や現場での乳幼児との関わりを実感できるような内容を工夫し、学生とのやり取りを重視しながら主体的な学びを促していきたい。

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
音楽の基礎	1	前期	選択	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。 1年次前期の科目であるため、今後音楽活動をしていく上でまずは音楽の基礎的な内容を学ぶことは大切である。これまでの音楽経験から既に音楽の知識をもっている学生と、これから初めて学ぶ学生と様々な経験値の学生がいるため、單元ごとに小テストを行うことでそれぞれの学習状況を把握するとともに復習への意識を高めた。 また、6つの段階に分けたソルフェージュ教材を準備し、毎回の授業後半に取り組むことでリズム感や基本的な発声について演習を通して理解が深まるようにした
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は平均82.7点である。（最高100点、最低60点、S-23人、A-16人、B-12人、C-6人、D-0人）である。 到達度自己評価の平均値は、「全般的評価」4.0、「知識理解」4.3、「技能表現」3.9となっており、約96%の学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答している。 知識理解については、單元ごとに小テストや課題を設ける際に復習箇所を明確に示していたため自由記述に「ワークをした」「ノートをまとめた」等の回答がみられ、理解を深めることにつながったと考える。 以上のことにより、目標は達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため学生の受講意欲も比較的高い。 DPに関しても、「到達度自己評価」の「知識・理解」、「技能・表現」の両方において、約96%の学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答しており、最終的な評価からも現段階での課題は達成できていると考える。 以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業内で取り組む範囲や小テスト等を具体的に伝えてきたため、「授業の質評価」での平均値は4.3で、全ての項目において「まあまあそうだと思う」以上の回答がみられた。 音楽の経験が少ない学生にとっては内容が難しいところもあるため、授業のはじめに前回の復習を入れるように配慮し適宜授業内で机間巡視を行うことで学生が質問する機会を設けるよう努めた。また、パワーポイントを使用して授業を進めることで、学生が理解しやすい資料の提示・説明を心がけるだけでなく、板書時間が減ることにより個々の学生の状況をみながら進めていくよう配慮した。 また、各自で復習ができるよう課題以外の内容を提示してきたため、自由記述の内容から適切に取り組んだ学生がみられる中、「何に取り組めばいいかわからなかった。」という回答が3名あった。「学生の私語が目立つ時があったので随時注意を促してほしい」という意見もあったことから私語により話を聞けていない可能性が考えられるため、学生たちの学習環境を適切に整えるために学生の様子をみながら適切に注意をしていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の目標達成状況や評価状況から、概ね授業の目標は達成されたと考える。これまでの音楽経験から音楽的知識が全くない学生もよりスムーズに理解を深めるだけでなく、実践に活かしていくことができるよう授業展開を図っていきたい。

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども家庭福祉	1	前期	必修	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目の受講対象者は1年生である。卒業必修科目であり、保育士資格取得のための必修科目であることから、全ての学生が受講している。開講時期が1年生前期ということもあって、保育者が福祉を学ぶ必要性を理解できずにいる学生も少なくない。そこで、保育者が福祉を学ぶ意義等について繰り返し説明するなどして、受講の動機づけを行うよう心掛けている。また、学生の学修準備性を高めること、学習状況を確認することを目的に、予習プリントの配布と小テスト実施している。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	達成された		達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	成績評価については、定期試験、レポート、小テスト、授業への参加度を踏まえて総合的に行った。その結果、全体の成績は平均82.3点であった。学生の到達度自己評価「（1）自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値3.9点（かなりそうだと思う26.6％、わりにそうだと思う46.7％、まあまあそうだと思う20.0％、少しそうでないと思う6.7％）であり、目標はやや達成されたと考える。「知識理解」については、「（2）知識を確認したり、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.3点、「（3）事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.3点であり、目標は達成されたと考える。「意欲関心」についても、「（6）自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.3点であるため、目標は達成されたと判断した。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられるもので、福祉系科目の基礎となる科目の一つである。保育士資格取得のための必修科目であることを学生も理解している（受講動機：「必修科目である」100%、「資格取得に必要である」87.0%）ため、受講に対する意欲は全体的に高い。DPに関連する到達度自己評価において全ての学生が肯定的評価をしていること、成績評価において一定程度の成果を得られたことから、本科目の内容的妥当性に問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業は学期をととして対面形式で実施した。授業運営にあたっては、学生が可能な限り発言できる機会や主体的に考えることのできる機会を設けるなどして、双方向授業を心掛けた。また、継続的な取り組みとして、予習プリントの配布や単元ごとの小テストを行い学習準備性の向上にも努めており、「授業の質の評価」に関する全ての項目において肯定的な評価を得ることができたのは、このような取り組みによるところが大きいのではないかと考える。他方、図書館やインターネットについてはほとんどの学生が利用をしていないため、今後も課題内容の工夫等をおこない改善に努めていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の自己評価や授業への取り組み状況から、本科目の学習目標は概ね達成できたと考える。今年度も昨年度同様「授業の質評価」の平均値に上昇がみられた。一方的な授業展開にならないよう、学生に質問を投げかけたり、学生同志で考える時間を設けたりするなど、学生の能動性を高める工夫を取り入れたことが、このような結果につながっているのではないかと考える。また、学修準備性を高めるための取り組みについて課題を残す結果となったが、記録作成や自発的学習の面では改善の成果が現れてきているように思われる。今後も引き続き、学生の教育環境を踏まえつつ、教育の質の確保・向上を目指した取り組みを行っていきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども家庭支援論	2	前期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられており、保育士資格取得のための必修科目である。学生の受講動機は、「必修科目である」が27%、「資格取得に必要である」が93%、「関心のある内容である」が47%と大部分の受講生が資格取得のための必修科目として履修している。授業では、毎回教員が作成したレジュメを配布し、重要なキーワード等を穴埋め方式にすることでポイントが押さえられるよう工夫した。また、講義内容を実践に引き付けて理解することができるように、適宜事例を紹介し、支援方法等を検討する機会を設けた。学生の理解度の把握と予復習を促すため、単元ごとに小テストを実施し、その点数も成績評価の対象とした。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された			達成された		達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	全体の成績は平均84.0点であった。学生の到達度自己評価「（1）自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値4.3点であり、アンケートに回答したすべての学生が肯定的な評価をしているため、本科目全体での教育目標は達成されたと考える。「意欲関心」は、「（6）自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.3点であるため、目標は達成できたと言える。「技能表現」については、「（7）自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が4.3点、「（8）コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値が4.1点であることから、目標はやや達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられる。保育士資格取得の必修科目であることから、学生の受講動機は主に資格取得のためではあるが、授業における課題への取り組み状況や自己評価における「意欲関心」の項目が平均値が4.3点（かなりそうだと思う46.6%、わりにそうだと思う40.0%、まあまあそうだと思う13.3%）を示していることから、本科目での学びを通して学習意欲の高まりがあったことがうかがえる。また、成績評価においても一定程度の成果を得られたことから、内容的妥当性に問題ないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「授業の質の評価」は平均値4.1-4.3点であったことから、授業運営について一定の評価を得ることができたと考える。また全項目において全ての回答者が肯定的な回答をしている。学生の自由記述では「事前に調べてプリントに書いたり予習することができました」、「教科書を読んで予習した」などのコメントが見られる一方で、「何をすれば良いかわからなかった」とのコメントもみられるため、今後も予復習の取り組み課題や取り組み方法の明確化を図っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	学生の学習到達度や授業の質の確保については達成できたと考える。今後の課題として、学習量、情報利用の改善に向けた取り組みはもとより、本科目の特性を踏まえ、学生が可能な限り実践的な学びを深めることができるように教材の修正、改善を行っていきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの理解と援助	2	前期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、保育士資格取得に必要な科目であるため、保育士資格を希望する学生は全員受講している。しかしながら受講動機において資格取得に必要であると認識していない学生も少なからずいる。授業初回にカリキュラムマップを用いて説明してはいるが、より丁寧に伝えることが必要であると思われる。 受講学生は1年次に教科や実習の中で乳幼児の発達の様子をある程度理解していると考えられるため、本科目では、実践事例を中心に実際保育者としてのどのように子どもを理解し援助すればよいのかが理解できるように授業計画を立てた。 今年度からコミュニケーションシートによる授業の振り返りを導入した。これにより学生の理解度について把握することができた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された	達成された			
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な評価は84.0点（最高点97点、最低点58点）であった。評価に際しては定期試験は実施せず、普段の提出物やレポートによって行っているが、提出物の遅れや未提出、レポートの分量不足等により点数が伸び悩む学生が複数見られた。 レポート作成の手続き・方法自体の理解が不足している点が見受けられたため、基本的事項についての説明の重要性を感じた。 「到達度自己評価」、「授業の質評価」では多くの学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしており、全体を通して目的はやや達成されたのではないかと考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられており、保育士資格（必修）の科目である。受講生は資格を取得する目的を持っているため、比較的受講に対して前向きな学生が多いと考えられる。 また、本科目では、個の対象の理解や集団の理解、それに対する保育者の援助のあり方など、実践事例を中心に読み解いていった。学生が保育者として子どもを援助する際の視点を育むことができたのではないかと思う。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	実践事例については、学生たちの経験に合わせてなるべく多くの保育観や子ども観と結びついた意見を踏襲していきながら、今年度は、教師からの事例の分析だけでなく、学生が事例をどのように捉えているか、どのように保育を展開していけばよいか発言できるように授業を展開した。事例検討の結果は全体で共有できる場を設けたが、より幅広い保育の見方や考え方、子どもの姿の見取りができたのではないかと思う。しかしながら、ディスカッションのやりとり慣れていない学生も多く、このやり取りについては課題が残った。今後はさらに多くの学生の発言を取り入れることにより、さまざまな保育感に触れる機会が持てるよう授業を進めていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	全体的には学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。本科目は、前半は1年次の学びと実習を振り返る形で講義を行い、後半は6月に行われる実習での自身の経験をもとに実践事例を分析していきたい科目である。 事例分析の際には、今年度と同様にディスカッション形式を取り入れていくが、方法について検討していきたい。 保育としての援助を行うためには、子ども理解は必須である。保育者が目の前の子どもや場面をどのように捉えるかによって援助の方法は異なる。これらは理論のみならず実習等の経験を深めていくことが重要であるため、実習後の振り返りをより多く取り入れると同時に、実習を実施していない学生が取り残されないように配慮していきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもと健康	1	前期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生（前期）であり、今後資格を取得するために、子どもの発達や健康課題、生活習慣の形成等を理解することは大切であり、子どもたちが安全で健康的な園生活を過ごすための知識を得るためには重要な科目であると認識している。授業を進めるにあたっては、学生が自らの健康を意識できるように、健康の定義や生活習慣について考えディスカッション等を通して理解が深まるように授業を展開した。また、今後の実習に生かせるように授業後に内容をノートにまとめるように指導を行った。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均は91.7点（Sー15人、Aー1人、Dー1人）である。受講した学生ほとんどがSを取得していることから、目標は達成されたと考えている。受講した学生は、子どもの健康や生活習慣の形成について概ね理解していた。授業評価アンケートでは、「学校が終わった後、健康のため運動をした」「その日の授業内容の振り返りとして自分が知りたい事をネットで検索し、参考文献などをノートに書き加えた」という意見が見られた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」における「保育の内容・方法に関する科目」に位置づけられており、幼稚園教諭免許（必修）、保育士資格（選択必修）の科目である。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみても現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、「自分の生活習慣や自分の健康について考えた」という意見が見られた。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	健康を理解するために、まずは学生自身の健康や生活習慣を考え、幼児との違いや発達・特異性などを理解できるように丁寧に説明した。また、子どもが安全で健康的な生活を送るために身体的特徴等を考え、安全管理・安全教育の大切さに気づけるようにした。今後、実習を実施した際に観察するポイントなども説明した。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。今後の実習等で経験や知識が生かされるように、他の授業と繋げて考えられるような授業展開ができるように検討していく。

学科	保育科
氏名	末 崙 雅 美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもと環境	1	前期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	幼稚園教諭免許と保育士必修科目で全員が履修する。入学後間もない学生が保育の5領域を理解できるよう、できるだけ平易な言葉や表現を用い、もう一つの担当科目「保育原理」の内容と関連付けながら内容理解できるようシラバスを立てた。まずは「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の取り扱い方を学び、5領域に関する他の科目でも活用できるよう工夫した。そのため、学生には学習の予習として、まずは「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の該当箇所を読み込み、どのような内容なのか確認することに加え、復習として穴埋めプリントを用いて振り返り学習ができるようにした。内容理解ができれば、保育における環境構成と子どもの遊びとの関わりについて学べるようにした。自発的活動としての遊びを、環境構成から理解する意義について講義を行った。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	成績について、平均点が89.8と非常に高く、ほぼ全員が秀または優の成績となった。試験の成績も良く、提出物もきちんと提出されていたため高い点数となった。そのため知識理解については十分達成されたといえる。学生の到達度自己評価についても、3.8～4.5であり、学習の成果が十分得られているととらえられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	この科目の位置づけと内容的妥当性については、十分に妥当であると言える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては、全ての項目が4.0以上であり、授業の進め方としては問題ないとする。特に「理解しやすいものであった」4.5と、学生にとって十分わかりやすい内容であったと考える。保育の5領域のとらえ方、「環境」が意味することなど、入学したての学生が「分からない」ことを明確にすることを授業のねらいとしていたので、担当者としても達成できたかと考えている。 課題に関しても、授業直後に振り返りができ、さほど難しい内容で学生に自信が持てるように配慮した。ただそのことが、課題外の学習を引き出すことができなかったとも考える。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	次年度は3年制コースの2年生が受講する。これまでは「入学したばかり」「保育の世界はほとんど知らない」学生を対象とした授業内容だったので、内容を少し変更しつつも、わかりやすい内容になることを心がけたいと思う。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもと言葉	1	前期	選択	はい	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	幼児を対象とした言葉を学ぶ学科であることは学生皆が周知しているが、幼児が豊かな言葉や表現を身に付けるためには何が大切で何を必要とするのか、そのためには教師はどの様な取り組みをしてゆけばよいかはそれぞれの学生には温度差がある。したがって、言葉は人の心がもとにあってそこから芽生えて行くものである、日々の生活の中で感謝する心、思いやる心、慈しむ心、反省する心、協調する心を育てるエキスに満ちた児童文化を基軸に据えて、さらに幼児の発達の姿と合わせて言葉の教育について講義している。したがって教材の選択に関してもかなり吟味しながら、絵本、物語、紙芝居等々の力をも借りながら、講義をすすめていった。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	実習体験を通して自身の課題を発見し、講義の内容と重ねながら検討理解している様子が伺えたので、この講義に関しては80パーセントは活かされていると思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た妥当性については、良かったと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学生には、一人一人意見を求めて考えを発表してもらう時間を設けた。その結果、他学生との分かち合いと幼児の言葉に関する理解度も自然に学びが深まっていくように感じられた。学生の中にはそれに深く感銘している者もいた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	全ての学生が最終講義までには、自信をもって達成できるように尽力したいとかがえている。

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「健康」の指導法	2	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、保育士資格及び幼稚園教諭免許取得のための必修科目です。授業評価アンケートでの受講生の受講動機が「資格取得に必要である」95%と回答しているため、科目の位置づけをしっかりと認識できていると読み取れます。 本科目では、できる限り座学ではなく、グループワークやフィールドワーク等、自分自身の身体で覚え、感じ、考えることを大切に授業内容を構成しています。今年の受講生達は、毎回の授業内容を楽しみにしてくれており、科目のオリエンテーションでの授業計画の説明時もメモをしっかりと取り、15回の授業に臨んでくれました。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	本科目の成績評価は、シラバスに示した通りの評価基準に則り採点をしました。その結果、「秀」27名、「優」3名、「良」1名であり、不可はおりません。					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。	授業評価アンケートの結果からも、「到達度自己評価」の「(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は、平均値4.6であり、特に「(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたりと意欲を持つことができた」「(7) 自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」が共に平均値4.7、中央値5.0であり、その他全ての項目で平均値が4.4～4.7、中央値4.0～5.0でした。思っている以上に受講生は関心を高く持って受講してくれていたことが分かり、そのことが成績評価にしっかりと反映できていたと思っています。					
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	関連する基本知識を学んだあと、2年生前期に本科目が位置付けられていることは、授業内容を考える上でも、効果的でした。また、授業評価アンケートの結果からも本科目のDPが合致していることがわかり、DP,CP,カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性は担保できていると評価します。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館,インターネット利用」学生の意見など	授業評価だけでなく、日々の授業コメントカードからも、グループワークやフィールドワーク等、実際に身体を用いることでの学びは座学と比べ非常に深く、受講生の満足度も高いことは以前から感じていましたが、この学年は特に、学びに貪欲なため、例えば教材がダブらない様に皆で調整しながら取り組んでいた様子は、素晴らしいことだと思いました。このような姿勢で授業に臨んでいた学年は今までなかったため、私自身が学ばせていただきました。今期で最後となりますが、やり残した思いは一切ございません。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	教育要領、保育指針に基づいて授業を組み、展開してきましたので、満遍なくできたのではないかと考えています。また、今年度は、天候に恵まれ、勝山公園でのフィールドワークが思いのほか学びが多かったことは、受講生の満足度に影響を及ぼしていると思います。この学びを卒後活かしていただけることを祈っています。

学科	保育科
氏名	櫻井 裕介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「表現」の指導法（造形）	2	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	資格取得に必要なである83%、保育科の場合は免許、資格必須科目が多く、選択科目が少ないのが現状である。保育活動における、領域「表現」の造形に関する演習科目である。基礎技法から基礎技法をどの様に保育活動や発達過程に合わせて取り組んでいくのか、また、保育者としての準備や片付け、安全性や危険性などを知識とともに実践するものである。課題以外に学習に取り組んでいない場合の意見に「取り組み方が分からない」とあったが、次回授業の準備のためのテーマ選びや休み時間を利用しての製作活動を行う学生もいたことから、取り組みはできていると考える。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	達成された				やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績平均値80.8（±7）再試験対象者は0名であった。出席率と成績の相関も出ていた。発達過程によって、素材選びや準備、片付けも含めて保育者としての取り扱い方の知識と実際をおおむね身に着けたものとする。また、保育における「導入」の大切さを学んだとの意見も散見され、DP1は達成されていると推察する。実習で授業間隔が広がることもあり、また受講者全員が出席できない回もあるので、補講を含めて、学生の経験が担保されるように計画、実施していくことが課題である。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	専門応用科目であり、保育の基礎を学び、実習に臨む学生は意欲的に受講していたように感じる。専門基礎科目の学びを基に、本科目を受講し、更に保育、教育実習や保育教職実践演習といった科目への応用につながり、学生自身もその意味を理解して取り組んでいたと感じる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	演習科目であり、学生自身が手を動かし保育に関する造形活動を行った。2年次科目であり、クラスの人間関係もできておりグループ活動もスムーズにできていた。授業内容を実習先でも取り入れたとの意見もあった。改善については先にも記したように、実習期間のずれによる経験の差について、どのように担保するのかについて取り組んでいく。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	90分という時間では準備や片付けを入れると、造形の演習には短いことがある。学生の自由記述からは楽しみながら学べたという肯定的な意見があったが、本来は学生が保育者として準備すべきところを時間の都合から教員が行っている部分が多々あった。この準備は保育者にとっては必ず行わなければならないものであるので、準備の考え方や進め方についても授業内容に取り入れるように計画を再考したい。

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「表現」の指導法（音楽・身体）	2	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は幼稚園教諭免許取得に必要な科目であるため、受講動機では「②資格取得に必要である」が81%となっている。 音楽の経験が少ない学生が多く1年次の様子から音楽に対する苦手意識がある学生がいるため、初回授業時に「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」を読み込むだけでなく、DVDを用いて日常生活の中にみられる子どもの発達段階に応じた表現について考える機会を設けた。これにより科目の意義を理解できるようにした。また、適宜グループワークを取り入れ、表現することの面白さや重要性を実際に体験しながらお互いに意見を述べることで学びを深めていくことができるよう心がけた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な成績評価は平均84.6点である（最高97点、最低60点、S-12人、A-14人、B-4人、C-1人、D-0人）。 到達度自己評価「(1)自分なりの目標を達成した」では平均値4.3、「知識・理解」では「(2)知識を確認したり、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.6、「技能・表現」では「(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が4.6、「(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値が4.6となっており、全ての学生が肯定的な評価であることから目標は達成されたと考える。 最終的な成績評価と学生の自己評価からみて授業の目的は達成されたと考える。					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標>						
「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、「専門科目」における「保育の内容・方法に関する科目」に位置づけられている。 保育の「表現」領域に関する内容となっており、内容的に妥当であると考える。受講動機では「資格取得に必要である」が81%となっており、受講学生は資格取得を目指しているため、受講意欲は高い。 DPに関しては、「到達度自己評価」の全ての項目において、全学生が「わりにそうだと思う」以上を回答しており、内容的妥当性に問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	単元ごとにグループ発表を行うことで学生が自主的に考え、他者の表現も受け止めながら一緒に作りあげていくよう実践的な内容を取り入れた。また、単元によっては講義を交えて行うことで子どもの表現活動について理解を深められるよう配慮した。 また、図書館利用をした学生は約20%という回答になっている。最終授業時には模擬保育も取り入れ、グループでテーマを決めて活動を考える内容があるため今後は積極的に図書館の利用も促すように心がけていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の取り組み状況や評価から、本科目の目標はやや達成できたと考える。今後も授業内容の見直しや改善を行いながら質の向上を目指していきたい。

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども音楽療育演習	2	前期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は「こども音楽療育士」資格取得に必要な科目であるため、学生の受講意欲は高い。 後期に「こども音楽療育実習」があるため、本科目では実際に様々な楽器や楽曲に触れて、障がいのある子どもへどのように活動を展開していくか考える機会を多く設けた。また、適宜少人数でのグループワークを取り入れ、実際にセッションの組み立てから実践までをグループごとに行い、表現することの面白さや重要性を体験するだけでなくお互いに意見・課題を述べることで学びを深めていくことができるよう心がけた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された					達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は90.4点であった。（S-5人、A-2人、B-0人、C-0人、D-人） 「到達度自己評価」の総括的評価「(1)自分なりの目標を達成した」の平均値は3.9となっているが、DP5技能・表現における「(7)自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.5、「(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は4.5となっており、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答していることから、概ね本科目の教育目標が達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、「専門科目」における「保育の内容・方法に関する科目」に位置づけられている。 保育の「表現」領域に関する内容となっており、内容的に妥当であるとする。受講動機では「資格取得に必要である」が100%となっており、受講学生は資格取得を目指しているため、受講意欲は高い。 DPに関しては、「到達度自己評価」の全ての項目において、全学生が「わりにそうだと思う」以上を回答しており、内容的妥当性に問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	受講生が少人数であったため、グループワークを中心に行うことで学生が自主的に考え、意見交換を行いながら能動的な学びになるよう配慮した。 学習量の評価において、予復習の取り組み0回という回答がみられた。授業でグループの発表や様々な楽曲に触れていく中でも練習は非常に大切であるが、現場に出てから子どもたちや様々な状況に応じて活動を展開する力はずぐに身に付くものではなく積み重ねていくものであることから、今後は学生に練習・準備の重要性を丁寧に伝えていく必要がある。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の取り組み状況や評価から、本科目の目標は達成できたと考える。後期の実習に向けて上記課題の改善を行いながら質の向上を目指していきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもと絵本	2	前期	選択	いいえ	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、認定絵本士資格関連科目である。卒業や幼稚園教諭、保育士のみ取得希望の学生は受講の必要のないプラスαの科目のため、意欲をもった学生が受講している。 幅広い絵本の知識・技術を修得するため、保育のみならず、文学の専門家、図書館司書、絵本編集者、絵本作家、絵本専門士などの外部講師が担当する講座が多く準備されており、認定絵本士に必要な知識・技能・感性に加えて、指導力・選択力・コーディネート力・企画力・コミュニケーション力・表現力などの力を身につけられるように授業を構成している。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された			達成された		やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は88.3点（最高点100点、最低点60点）である。定期試験は実施しておらず、それぞれの回において事前課題や事後課題が出されており、その提出状況や内容による評価である。 授業評価による中央値は4.0となっていたが、各回の担当が異なるため、課題の評価方法の提示や当該講座の意図等の理解について課題が残ると考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、DPにおける意欲関心、技能表現に基づいた科目である。カリキュラムツリーでは、保育士資格・幼稚園教諭免許に加えて取得する資格となっている。学生の受講状況や授業評価アンケートの結果から見ても内容的妥当性はある、と考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	初回のオリエンテーション以外は、全て認定絵本士として申請している科目であり、外部講師も多く担当していることから、多角的な視点で絵本及びその周辺領域について学べるのは意義深い。一方で、複数の担当（特に外部講師は一人1回ずつ）が授業を行うため、全体を通した学修の意図が理解しづらくなっているように感じている。そのため、次年度以降については、授業の始めの時間に毎回授業目的などを専任担当者が確認するなどの時間を設けたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	保育の現場に必ずある絵本について深く学べることは、保育の専門性を高めるための一助となる。学生の理解度を高め、意欲的に受講できるように授業目的の明確化ができるよう改善していきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どものためのピアノⅠ	1	前期	選択	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。 個々のレベルに応じてピアノの技術を習得していくため、非常勤助手の教員6名を含めた7名の教員のもとグループをつくり個人レッスンの形で進めている。グループで偏りがでないよう入学前までの学生のこれまでの音楽経験をもとに、個々のレベルに合わせて均等にグループ分けをし、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。 また、現場では子どもたちの前でピアノを演奏することになるため、ピアノの経験がない学生でも早い段階から人前で弾くことに慣れることができるよう、担当教員のレッスン以外に科目担当者のもとで1人3回ずつ少人数でのグループレッソンの機会を設けている。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された					やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は70.7点（S-1人、A-18人、B-13人、C-0人、D-25人）であった。本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。「到達度自己評価」の全般的評価の平均値は4.2と回答されており、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値も4.5であったことから、各自の成績にばらつきはあるものの課題に対する意識は高く、個々のペースで保育者として必要な技術を身につけるために着実に課題へ取り組んでいると考える。 以上のことにより、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。DPに関しても、「到達度自己評価」の「技能表現」において、約98%の学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答している。本科目では、保育者として求められるピアノの力を身につけるためにまず基礎を身につけることに重点をおいた内容を課題としている。授業の課題以外に取り組んだ学習として「先生から出されたページ以外のところも進めた」「課題の曲以外にも教材にのっている曲の練習をした」「家にある弾き歌いの楽譜を弾いた」等の回答があり、意欲的に取り組む様子がみられた。 以上のことにより、内容的妥当性に問題は無いと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	一対一の個人レッスンという体制により、学生が担当教員に相談しやすく個々の状況に応じて課題を進められる反面、学生によっては直接発言しづらい環境でもあるため、教員間の情報共有・連携だけでなく、中間発表・グループレッスンの機会を設けることで科目責任者の教員が全学生の進捗を把握し、学生とコミュニケーションをとれるよう心がけてきた。 グループレッスンについては、ピアノの経験がない学生が増えてきていることや、これまで「人前で弾くことが苦痛」といった意見があったことから、今年度より1年次の前期は少人数による発表にすることで、学生が人前で弾く苦手意識を少しでも減らしていくことができるよう配慮した。 また、今回課題修了に至らず単位を取得できなかった学生へは、後期の「子どものためのピアノⅡ」に向けて継続的な練習に取り組むことで技術の向上を目指し単位取得への声掛けを行っている。学生の希望に応じて授業外でも質問やレッスンを受け付けることで、学生の技術向上をサポートできるよう対応していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。 今後は、上記の課題を改善していきながら授業を展開できるよう心がけていきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どものうたと伴奏法Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は免許取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許取得を望む学生が受講している。 個々のレベルに応じてピアノの技術を習得していくため、非常勤助手の教員4名を含め5名の教員のもとグループをつくり個人レッスンの形で進めている。 グループで偏りがでないよう、入学前までの学生のこれまでの音楽経験や、一年次に開講している「子どものためのピアノ」での進度をもとに、個々のレベルに合わせて均等にグループ分けをし、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。また、担当教員のレッスン以外に、科目担当者のもとで1人3回ずつ中間発表・グループレッスンの機会を設けている。人前で弾くことに慣れるだけでなく、実践に即した形(保育者(弾き手)・子ども役(歌い手))で発表を行いそれぞれ感想を伝え合うことで、保育者に必要なピアノ演奏技術について理解を深められるよう心がけた。 また、実習や就職試験でピアノの実技を控えている学生には、必要に応じて授業内で相談にのり、対応していくようにしている。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された					やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は79.0点であった。（S-3人、A-9人、B-10人、C-1人、D-7人）本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。 「到達度自己評価」の総括的評価の平均値は3.9となっているが、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.4で全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答していることから、単位取得ができなかった学生が多くいる状況ではあるものの現時点における各自の目標は達成した上で保育者として必要な技術を身につけるために個々のペースで着実に取り組んでいると考えられる。 以上のことにより、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。 DPに関しては、「到達度自己評価」の「技能表現」において、全ての学生が「わりにそうだと思う」以上を回答しており、2年次での実習経験や就職試験の準備をしていく中で、保育者として求められるピアノの力を身につけるためにより意欲的に取り組む様子がみられた。 以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	一対一の個人レッスンという体制により、学生が担当教員に相談しやすく個々の状況に応じて課題を進められる反面、学生によっては直接発言しづらい環境でもあるため、教員間の情報共有・連携だけでなく、科目責任者の教員が全学生の進捗を把握し、学生とコミュニケーションをとれるよう心がけて進めている。 ここ数年の授業評価において、中間発表・グループレッスン・試験等で人前で弾くことに対する意見がみられたが、今年度はより丁寧にその意図を伝えてきたため初心者割合は高かったものの昨年度までの意見はみられなかった。 しかし、学習量の評価において、授業に向けての準備(練習)が0回という回答が複数みられた。本科目は個人レッスンの形で課題を進めていくため授業を欠席すると課題が進まないだけでなく、授業外での日々の練習が重要となるため今後さらに練習の必要性について丁寧に伝えていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。上記の課題を改善していきながら、今後の授業を展開できるよう心がけていきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの運動あそび	1	前期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生（前期）であり、子どもの運動あそびやその果たしている役割などは理解していない。今後資格を取得するために、子どもの発達や運動あそびの果たしている役割を理解することは大切であり、安全管理等の知識を得るためには重要な科目であると認識している。授業を進めるにあたっては、学生が子どもの運動あそびを実際に行いながら子どもの発達や運動あそびの発展等を理解できるように、ディスカッションや過去の経験を振り返ることができるような内容を取り入れた。また、今後の実習に生かせるように、授業後に内容をノートにまとめるように指導を行った。運動あそびではあるが、子どもの発達や運動あそびの理解が深まるように資料配布を行った。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された					達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均は88.7点（S-11人、A-3人、B-2人、C-1人）である。受講しているほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Sを取得した学生は、理想的なレベルの見本が示せたり運動あそびの補助ができるようになっていた。授業評価アンケート「学習量の評価」では、習った運動遊びの展開の仕方や環境設定の仕方、留意点などを調べたという意見が見られた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置づけられており、幼稚園教諭免許（選択必修）、保育士資格（選択必修）の科目である。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、楽しく学べたという意見が見られた。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	体育館という環境のため、学生が説明を聞き取りやすいように注目を集めたり、聞き取りやすい環境づくりに努めた。また、教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で授業を行った。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りが見られるため、すべての学生が発言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。授業評価アンケートでは、運動あそびの種類を調べノートをまとめたという意見が見られた。授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習では、鉄棒やマット運動の練習を行っている学生が多くいたが、図書館やインターネットを利用した学生がほぼいなかった。遊びの種類や安全管理等を調べるような課題を設定し、利用を促したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。この授業では学生のみで運動あそびを行うため、実際の子どもの姿と重なることが少ない。今後の実習等で経験や知識が生かされるように、他の授業と繋げて考えられるような授業展開をできるように検討していく。また、授業後に内容をノートにまとめるようにしているが、授業中の休憩時間にメモを取れるように改善を行いたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの発達理解とあそび	2	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は資格取得に必要な科目であることを学生も理解しているため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生は全員受講している。受講学生は、1年次の授業及び実習での経験を通して、子どもの発達理解や個別の特性を理解しつつある段階であるが、2年次の実習では実際に子どもに“あそび”を実践するため、授業での体験は保育者としての視点を持ちつつ臨まなければならない。 オムニバス科目であり、「あそび」担当教員は、リズム遊び、ルールのある遊び、わらべ歌など、実際に年齢別の子どもの姿を伝えながら、保育者の援助方法、遊びの展開についての教授を行い、実践理論担当教員は、体験した遊びの内容の振り返り、留意点を伝えた上で、実際の実践指導案の作成を指導した。また、0，1，2歳児の発達と遊びについては、学生の理解を深めるために別途講義を行った。そのことにより、学生が自分の体験をもとに子どもであれば、という視点を持ちながら振り返りを行う事ができたと考えられる。 授業評価の中に提出物についての指摘があるが、提出物は初回オリエンテーション時に資料を配布し具体的に説明している。それを最終授業前に再度、教員及び学生共に確認しているところを指摘されたと考えられるが、基本的には変わっていないことが理解できるように、今後伝えていきたい。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された		達成された	達成された		やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な評価は86.9点（最高点95点、最低点63点）である。 本科目は、学生の主体性が特に求められる。同時に、保育者としてのスキルを高めていくための思考力や判断力も求められる。授業の振り返りレポートや子どもの発達の状況を踏まえて作成する指導計画などは基本的に授業内で作成することができるよう時間を設けているが、時間内に作成が終わらなければ課題になる。多くの学生は時間内にほぼ作成できているが、個人によってそれに要する時間に差があり、未提出のままとなる学生も見られた。作成が進まない学生の状況理解をしていきたい。学生は授業に向けて予習または復習を随時行っており、配布資料を活用するなど、授業が講義時間のみではなく各自の学習につながっていると考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられており、幼稚園教諭免許状（必修）、保育士資格（選択）の科目である。受講生はいずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。 DPに関しても、子ども理解、保育者としての対応など指導案の作成を重ねる毎に深められており、紹介した遊びを基に他の遊びに興味を持ち調べたり、体験した遊びを対象の年齢に合わせて変化させたり、紹介された教材を作成するなど意欲も高くなっていた。 また、随時ある実習においても本講座で作成した資料等を活かすなど、授業と実践が密接に関連していることがうかがえる。 以上のことより、内容的妥当性には問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	本科目は、本学独自の科目として「保育の対象理解」に該当している。「到達度自己評価」に関しては、全員が「まあまあそうだと思う」以上を選択しており、学生の満足度は高いと考えられる。しかしながら、授業の質的評価において、（１）（３）に「少しそうでないと思う」を選択している学生が複数名いる。（１）に関しては、授業内で評価の観点も伝えているが、これからも意識していきたい。（３）については、科目の展開の仕方がオムニバスであるものの、それぞれが関連しあっているため、両方の授業を理解することが求められる。より、教員間の連携を深めていきたい。 計画に際しては授業で体験した内容を実習で実践しており、特に6月の実習後は体験を振り返り、実際の子どもの様子を意識しながら立案されていることがうかがえる。 昨年度の課題であった「指導計画作成の苦手意識」については、教員からの指導のみならず、学生同士の学び合いの時間を設けた。他者の指導計画を指摘するには、自身の理解が必要であると同時に、他者視点の計画を見ることで自身の保育の展開方法についてのバリエーションが広がっていったようであった。次年度以降も継続して行いたいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。 担当科目教員同士で授業時の様子などの意見交換を行いながら、計画を進めることによって、学生の現状を把握しながら授業を展開できたのではないかとと思う。 今回出てきた課題点を次年度改善できるようにしたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども文化	1	前期	必修	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・本科目は資格取得に必要な科目で、学生は保育現場での「あそび」の実践につながることを理解して受講していた。実際に保育科資料室にある子ども文化財を用いて遊び方を体験し、またそれを使ってお互いに発表し合うことで手作りの保育教材の必要性を理解し、自分なりの教材作成へと進める計画であった。 ・子ども文化財が幼い子どもの発達に与える影響について講義で伝え、子どもの発達を促しながら「あそび」を楽しむことができる保育教材を作成するとともに、それを保育現場に持ち込んで実践できるように留意しながら授業を行った。 ・まずは担当教員が子ども文化財を用いて演じて見せ、それを参考に「自分の教材制作、遊び方の工夫」ができるように心がけて授業を行った。 ・最終回の授業では、実習や保育現場での実践力が身につくように、状況に配慮しながら手作りした保育教材の発表会を行い、学生同士の作品を見ていろいろな視点に気づけるように意図しながら講評をしていった。 ・対面での発表会では学生同士の交流ができるように心がけながら、お互いに演じ方についての意見交換を促していった。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された			達成された		達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	・様々な子ども文化財が子どもに与える影響について解説し、現場で活かせる文化財の作成を促したことで、ほとんどの学生はその意図を理解したうえで自分なりの保育教材を作るとともに、他者の前で発表することができていた。 ・特に「認定絵本土」の取得を目指す学生は、絵本等に関する内容について積極的に学ぼうとする態度が見られた。 ・完全に対面授業になったため、作成途中の作品をお互いに見せ合い、それぞれの良いところを見つけて刺激があったり、手伝ったりすることができていた。 ・トータルの成績評価は、84.6点（±6.9）と高得点であった。 ・ほとんどの学生が期日に遅れることなく、インターネットや本等を参考にして丁寧に保育教材を仕上げ、発表することができており、前向きに授業に向き合うことができていたが、数名は苦手の作業で苦労しているところがあった。 ・発表会では、保育教材を用いてみんなの前で演じ、評価点、改善点などを話し合うことで自信をつけ、新たな課題を見つけて次に生かそうとする意欲が感じられた。 ・制作や発表に不慣れな学生にとっては、対面授業での学生同士のやり取りや協力があつたことが励みになり、制作や発表に取り組むことができたように思う。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・本科目は「専門教育科目」の「保育内容の理解と方法」の科目に位置付けられており、必修の科目である。受講生のほとんどは保育現場に就職することを目指しており、概ね主体的、意欲的に授業参加ができていた。 ・DPに関しても、子ども文化財の意義を理解したうえで、子どもの年齢や季節、行事などに配慮しながら意欲的に制作、そして発表を心掛けており、他者の作品や発表の様子を見て刺激を受け、学びを深める学生が多かった。 ・以上のことより、内容的妥当性には問題がないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・課題の作成や発表が苦手な学生が数名いたが、対面授業の中で友だちに助けられながら制作や発表準備を進めることができていた。しかし、苦手な学生にとって無理にならないようにと考慮して指導したつもりであったが、授業アンケートで「課題への取り組みを緩くしない方が良い」という意見があった。教材制作や発表が苦手な学生のモチベーションを保つための励ましは、全体の学生へのバランスを考慮して行うように心掛ける。 ・モチベーションを担保しながら子ども文化財の作成、発表を行うために、参考になる保育教材の紹介や教員によるデモンストレーションなどを適宜取り入れ、学生同士の協力体制も意識的に作りながら、やり取りを重視して指導することを心掛けたい。 ・人前での発表に慣れるように、無理のない範囲で発表の機会を増やしていく。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・一部に課題の作成や人前での発表が苦手な学生が見られたが、制作が得意な学生やコミュニケーション力の高い学生が中心となって、協力し合える雰囲気のできたために、最低限度の個別対応で進めることができた。早期に苦手な学生を把握したうえで学生間の協力も促しながら、現場に出た時に必要であることを理解させ、モチベーションを担保しながら授業ができるように言葉選びに配慮していきたい。加えて、自分から主体的に教材作成に取り組む意欲が育つように留意しながら、ある程度の具体例を示したり、部分的に援助したり細やかな配慮も行っていく。 ・実習や現場で活用できる子ども文化財（保育教材）を作成し、授業の中で設定保育形式で発表することで、準備を整えて実習に臨む態勢を作ることができたと考えられることから、概ね授業の目的は達成できたと思われる。 ・次年度には、保育現場で楽しい活動ができることを重視し、さらに子どもの年齢や季節、行事などを考慮した課題の提示や設定保育形式での発表を、学生同士の交流を図りながら進められるように工夫していきたい。 ・他の演習科目での制作課題と内容が重複しないように情報共有しながら、課題を提示していく。